

101) Nothing

激しい雨の降る中を 傘もささずに歩いてた
夜を引き裂く稲妻が 大地の底から轟^{とどろ}いて
矛盾にみちた人生の 今日一日を締め括る
すべてのことはNothing! 答えはいつも Nothing!

Nothing! Nothing! Nothing! Nothing!

壁に書かれた落書きは 卑猥にみちた憤り
満たされぬまま過ぎてゆく若き血潮の叫び声
答えの出ない毎日を 苦しみながら生きている
すべてのことはNothing! 答えはいつも Nothing!

Nothing! Nothing! Nothing! Nothing!

怒りにみちた若き日を どうして人は青春と
いとも気やすく楽しげに 懐かしそうに語るのか
理屈っぽくて汗臭い 青春という1ページ
すべてのことはNothing! 答えはいつも Nothing!

Nothing! Nothing! Nothing! Nothing!

誰もが矛盾と向き合って 袋小路を歩いている
みんなどこかで妥協して まごころ捨てて生きている
それが人生いつの間に 流されながら生きている
すべてのことはNothing! 答えはいつも Nothing!

Nothing! Nothing! Nothing! Nothing!